2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　レオン自動機株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6272　URL https://www.rheon.com
代　表　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）小林　幹央
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員管理本部長　（氏名）福田　忠男　(TEL) 028-665-1111

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	21,819	9.4	2,973	21.4	2,956	15.6	2,021	18.2
2026年３月期中間期	19,937	1.2	2,448	△11.4	2,556	△6.3	1,710	△9.5

（注）包括利益 2027年３月期中間期　2,257百万円（ 18.1%）　2026年３月期中間期　1,910百万円（ 56.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	74.96	74.89
2026年３月期中間期	63.55	63.47

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	57,401	44,214	77.0	1,646.78
2026年３月期	54,405	43,062	79.1	1,593.43

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　44,186百万円　2026年３月期　43,028百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	27.00	―	31.00	58.00
2027年３月期	―	30.00			
2027年３月期(予想)			―	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	2.1	5,620	8.6	5,690	1.8	4,020	3.1	149.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	28,392,000株	2026年３月期	28,392,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,560,197株	2026年３月期	1,388,015株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	26,969,578株	2026年３月期中間期	26,920,697株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年11月24日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……10
(セグメント情報等の注記)……10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)……11
(継続企業の前提に関する注記)……11
(重要な後発事象)……11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善の動きが続く中、個人消費及び設備投資の持ち直しや各種政策の効果から、景気は緩やかな回復が見られました。一方で、中東情勢や米国の通商政策の動向、為替相場の円安基調と物価上昇の継続などから、先行き不透明な状況が続いております。海外経済におきましては、米国では景気の拡大が緩やかとなる中、通商政策などの動向が米国内経済に与える影響は、引き続き見通し困難な状況にあります。欧州ではウクライナ情勢や中東情勢の地政学リスクが高く、引き続き低成長が続くと見られます。また、中国でも不動産市況の低迷や通商問題の先行き不透明感から、景気回復ペースは減速すると見られます。

当社グループが主要市場とする食品業界は、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られるものの、各種コストの上昇を吸収するための値上げが続く中、消費者の節約志向が依然として継続し、引き続き厳しい経営環境が続いております。そのような環境下、大手・中堅ベーカリーによる設備投資は堅調さを維持し、流通・外食向けは復活傾向にあります。観光業界ではインバウンドの増加による需要回復の動きが弱含みの状況にあります。また、当社商品が中小企業省力化投資補助金の対象に登録されたことに伴い、補助金を活用した設備案件が増加しております。

当社グループは、2032年度までの長期10年ビジョンを『レオロジー（流動学）技術で美味しさを求めつづける』と定め、食品の美味しさを追求することで多くの人に楽しんでもらい、その上で「スマートファクトリー」を実現する食品製造機械を提供していくことといたしました。中期経営計画（2023年度～2027年度）の４年目の今年度は、「①成長基盤の強化」、「②利益基盤の強化」、「③経営基盤の強化」の基本戦略の推進策として、新機種開発を強化し、為替変動や地政学リスク等の外的要因に大きく左右されない安定経営基盤を構築し、ガバナンス強化や人材育成に取り組んでまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は21,819百万円（前年同期比9.4％増）、営業利益は2,973百万円（前年同期比21.4％増）、経常利益は2,956百万円（前年同期比15.6％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は2,021百万円（前年同期比18.2％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、外部顧客への売上高の数値を、セグメント利益は、セグメント間取引消去前かつ販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を、それぞれ記載しております。

食品加工機械製造販売事業（日本）

日本国内では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等、仕入商品の売上が減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は5,458百万円（前年同期比0.1％減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は2,867百万円（前年同期比23.2％増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同期比21.6％増加となりました。

主な要因は、大型製パンラインの「アルチザンブレッド生産ライン」や「コンチャ生産ライン」の販売が好調だったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが146円04銭から159円37銭と9.1％の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は3,913百万円（前年同期比32.7％増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会に関わる広告宣伝費の減少などにより、493百万円（前年同期比390.2％増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（ヨーロッパ）

ヨーロッパ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同期比9.8%増加となりました。

主な要因は、食品成形機の「火星人 KN551」や製パンラインの「ツインデバイダー VX222」の販売が好調だったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが168円06銭から184円35銭と9.7%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は2,981百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は大型展示会に関わる広告宣伝費の減少などにより、227百万円（前年同期比111.1%増）となりました。

食品加工機械製造販売事業（アジア）

アジア地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少しました。

主な要因は、大型案件の減少などがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,395百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は421百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

食品製造販売事業（北米・南米）

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同期比0.3%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが146円04銭から159円37銭と9.1%の円安の影響もあり、外部顧客に対する売上高は7,849百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

セグメント利益（営業利益）は原油価格の上昇に伴う荷造運搬費の増加などにより、413百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

食品製造販売事業（日本）

日本国内では、㈲ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は220百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,996百万円増加し、57,401百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加などであります。負債は、前連結会計年度末に比べて1,844百万円増加し、13,186百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加などであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて1,152百万円増加し、44,214百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年３月期の決算発表時（2026年５月15日）に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,117,444	11,949,088
受取手形及び売掛金	4,658,125	3,970,144
商品及び製品	6,753,096	6,506,809
仕掛品	1,818,036	2,691,244
原材料及び貯蔵品	466,029	496,283
その他	925,494	1,496,448
貸倒引当金	△83,551	△51,473
流動資産合計	25,654,675	27,058,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,452,167	17,579,119
減価償却累計額	△10,239,473	△10,376,648
建物及び構築物（純額）	7,212,694	7,202,470
機械装置及び運搬具	12,813,943	12,733,193
減価償却累計額	△9,432,467	△9,599,427
機械装置及び運搬具（純額）	3,381,476	3,133,765
工具、器具及び備品	2,156,895	2,218,370
減価償却累計額	△1,880,224	△1,926,553
工具、器具及び備品（純額）	276,671	291,817
土地	6,641,823	6,583,087
リース資産	28,392	28,392
減価償却累計額	△15,221	△17,768
リース資産（純額）	13,170	10,623
建設仮勘定	5,161,098	6,357,319
有形固定資産合計	22,686,934	23,579,083
無形固定資産	1,190,016	1,091,855
投資その他の資産		
投資有価証券	2,386,381	3,227,323
退職給付に係る資産	2,189,254	2,196,303
その他	305,934	256,904
貸倒引当金	△7,953	△8,098
投資その他の資産合計	4,873,616	5,672,432
固定資産合計	28,750,567	30,343,372
資産合計	54,405,243	57,401,918

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,438,472	1,053,587
短期借入金	1,153,570	936,365
リース債務	5,601	5,478
未払金	978,354	662,886
未払費用	682,977	695,440
未払法人税等	797,525	948,164
前受金	3,619,797	4,032,132
賞与引当金	794,046	802,920
役員賞与引当金	34,200	17,100
その他	116,291	626,031
流動負債合計	9,620,837	9,780,107
固定負債		
長期借入金	573,483	2,213,219
リース債務	8,911	6,234
繰延税金負債	765,464	813,245
再評価に係る繰延税金負債	357,262	357,262
資産除去債務	16,877	16,877
その他	40	40
固定負債合計	1,722,040	3,406,878
負債合計	11,342,877	13,186,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,251,852	7,267,286
利益剰余金	25,697,084	26,881,281
自己株式	△674,641	△953,259
株主資本合計	39,626,046	40,547,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,332,127	1,906,048
土地再評価差額金	△1,703,069	△1,702,809
為替換算調整勘定	3,240,823	2,935,396
退職給付に係る調整累計額	532,957	500,327
その他の包括利益累計額合計	3,402,838	3,638,962
新株予約権	33,481	28,910
純資産合計	43,062,365	44,214,932
負債純資産合計	54,405,243	57,401,918

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	19,937,937	21,819,270
売上原価	10,976,239	11,857,419
売上総利益	8,961,698	9,961,850
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	387,059	224,493
荷造運搬費	899,701	1,189,000
貸倒引当金繰入額	7,218	△28,416
販売手数料	548,299	523,680
給料及び手当	1,660,743	1,728,716
賞与引当金繰入額	436,153	452,365
役員賞与引当金繰入額	17,100	17,100
退職給付費用	75,908	56,760
法定福利費	330,495	369,127
旅費及び交通費	264,763	291,459
減価償却費	302,416	247,929
研究開発費	284,420	252,319
その他	1,298,735	1,663,419
販売費及び一般管理費合計	6,513,016	6,987,957
営業利益	2,448,682	2,973,893
営業外収益		
受取利息	62,922	9,287
受取配当金	28,732	37,863
物品売却益	9,577	11,746
保険解約返戻金	1,966	13,672
電力販売収益	13,225	11,906
その他	15,653	29,687
営業外収益合計	132,078	114,163
営業外費用		
支払利息	8,996	35,872
為替差損	7,391	87,485
電力販売費用	3,716	3,958
固定資産除却損	577	1,364
その他	3,638	2,967
営業外費用合計	24,319	131,648
経常利益	2,556,440	2,956,409
税金等調整前中間純利益	2,556,440	2,956,409
法人税、住民税及び事業税	823,964	1,127,670
法人税等調整額	21,659	△192,866
法人税等合計	845,624	934,803
中間純利益	1,710,816	2,021,605
親会社株主に帰属する中間純利益	1,710,816	2,021,605

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,710,816	2,021,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,160	573,921
為替換算調整勘定	141,714	△305,426
退職給付に係る調整額	△13,891	△32,629
その他の包括利益合計	199,983	235,864
中間包括利益	1,910,799	2,257,469
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,910,799	2,257,469

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,556,440	2,956,409
減価償却費	771,814	729,444
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3,219	△30,783
賞与引当金の増減額（△は減少）	△7,294	9,805
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△11,800	△17,100
受取利息及び受取配当金	△91,655	△47,150
保険解約返戻金	△1,966	△13,672
支払利息	8,996	35,872
固定資産売却損益（△は益）	△499	△1,052
固定資産除却損	577	1,364
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△24,678	△54,586
売上債権の増減額（△は増加）	938	652,194
棚卸資産の増減額（△は増加）	△444,396	△774,415
その他の流動資産の増減額（△は増加）	26,209	△321,623
未払費用の増減額（△は減少）	44,288	37,660
仕入債務の増減額（△は減少）	△48,872	△355,365
未収消費税等の増減額（△は増加）	△84,454	△60,819
未払消費税等の増減額（△は減少）	△5,442	△8,657
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△605,482	710,534
その他	113,260	268,300
小計	2,199,201	3,716,357
利息及び配当金の受取額	91,655	47,150
利息の支払額	△8,996	△37,703
法人税等の支払額	△1,118,162	△1,181,744
法人税等の還付額	16,502	11,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,180,199	2,555,221

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,865,256	△1,792,454
有形固定資産の売却による収入	500	6,296
無形固定資産の取得による支出	△254,918	△199,551
投資有価証券の取得による支出	△4,616	△4,808
その他	1,344	24,637
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,122,946	△1,965,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	80,000	△234,490
長期借入れによる収入	－	1,893,700
長期借入金の返済による支出	△170,365	△215,960
リース債務の返済による支出	△3,149	△2,800
自己株式の取得による支出	△61	△286,138
配当金の支払額	△618,012	△833,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△711,589	320,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,514	△78,173
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,692,850	831,644
現金及び現金同等物の期首残高	15,777,876	11,117,444
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,085,026	11,949,088

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,463,469	2,949,757	2,475,288	1,612,679	12,501,195
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,813,513	77,922	436	－	3,891,872
計	9,276,982	3,027,679	2,475,725	1,612,679	16,393,067
セグメント利益	2,326,757	100,643	107,798	451,231	2,986,430

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	7,215,818	220,923	7,436,742	19,937,937
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	3,891,872
計	7,215,818	220,923	7,436,742	23,829,810
セグメント利益	779,335	11,761	791,097	3,777,527

（注）各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……アメリカ合衆国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、イスラエル、イギリス、チェコ、オランダ

(3) アジア……韓国、台湾、中国、インドネシア、フィリピン

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	3,777,527
セグメント間取引消去	△187,057
本社一般管理費（注）	△1,141,787
中間連結損益計算書の営業利益	2,448,682

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	5,458,878	3,913,606	2,981,709	1,395,556	13,749,750
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,089,298	45,722	－	－	5,135,020
計	10,548,176	3,959,329	2,981,709	1,395,556	18,884,771
セグメント利益	2,867,034	493,342	227,596	421,670	4,009,643

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	7,849,257	220,262	8,069,519	21,819,270
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	－	26	26	5,135,046
計	7,849,257	220,288	8,069,546	26,954,317
セグメント利益	413,559	11,206	424,766	4,434,410

（注）各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・南米……アメリカ合衆国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、イギリス、イタリア、オランダ、イスラエル

(3) アジア……韓国、中国、台湾、インド、タイ

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金　額
報告セグメント計	4,434,410
セグメント間取引消去	△386,849
本社一般管理費（注）	△1,073,667
中間連結損益計算書の営業利益	2,973,893

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。